



福島医発第235号(地)

平成24年 4月18日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松田 峻一良

(公 印 省 略)

平成24年度中央研修会募集要項について(ご案内)

標記の件につきまして、財団法人地域社会振興財団より別紙のとおり通知が参りましたのでご案内申し上げます。

本研修は、自治医科大学と密接な連携のもとに、地方自治体や地域医療関係団体等が推進する保健・医療・福祉事業のそれぞれの分野からのニーズに応えるべく、1975年より研修会を別紙実施要領のとおり開催されるものです。

研修会の受講対象者は、地域医療に従事する医師、保健師、看護師、医療技術者、救急隊員などの地域医療従事者や地域住民を対象としており、「中央研修会」と称し、自治医科大学内にある地域医療情報研修センターで、また「現地研修会」と称し、全国各地で合わせて年間30回程度の研修会が開催されております。

つきましては、貴会会員への周知方につき、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、研修会受講希望者は申込書に必要事項をご記入の上、財団法人地域社会振興財団事務局研修課に直接郵送にてお申込み下さいますようお願いいたします。

記

1. と き 別紙のとおり
2. と ころ 地域医療情報センター(自治医科大学構内施設)
〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160

3. 受講料 25,000円(3日間)
18,000円(2日間)
4. 申込方法 「平成24年度中央研修会受講申込書」を同封のうえ「郵送」でお申込み下さい。必要事項を漏れなくご記入ください。
【宛先】〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160
財団法人地域社会振興財団事務局研修課 宛
5. お問い合わせ 受付時間：月曜日～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分
財団法人 地域社会振興財団事務局研修課
TEL：0285-58-7436
FAX：0285-44-7839
E-mail：fdc@jichi.ac.jp
URL：<http://www.zcssz.or.jp/>

「研修会募集要項」のご案内について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当財団の運営につきましては、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび「平成 24 年度研修会募集要項」を作成しましたので、別添のとおりご案内申し上げます。

つきましては、ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、貴所属職員へのご周知方並びにご参加についてご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、皆様方の今後益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

平成 24 年 4 月 1 日

財団法人 地域社会振興財団
理事長 香山 充弘
地域社会健康科学研究所
所長 永井 良三
(公印省略)

中央研修会のご案内

当財団の研修事業のひとつである中央研修会は、地域社会において保健・医療・福祉事業に携わる方々が、最新の医学知識と医療技術を習得することにより、地域住民の方々が安心して生活できるような地域社会にすることを願い、自治医科大学のご協力をいただき、昭和50年から実施しています。

今回は、平成24年度に開催します研修内容等についてご案内させていただきますので、是非ご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成24年度中央研修会一覧表

研 修 会 名		研 修 期 間	申込期間
1	第40回 看護師研修会	平成24年 6月 9日(土)～10日(日)	4月 1日(日)～ 5月18日(金)
2	第32回 薬剤師研修会	6月13日(水)～15日(金)	4月 1日(日)～ 5月25日(金)
3	第39回 臨床検査技師研修会	6月21日(木)～22日(金)	4月 1日(日)～ 6月 1日(金)
4	第52回 管理栄養士研修会	6月29日(金)～30日(土)	4月 1日(日)～ 6月 8日(金)
5	第31回 健康学習研修会	7月 5日(木)～ 6日(金)	4月 1日(日)～ 6月15日(金)
6	第12回 健康企画・評価研修会	8月 2日(木)～ 3日(金)	4月 1日(日)～ 7月13日(金)
7	第33回 保健活動研修会	8月22日(水)～24日(金)	4月 1日(日)～ 8月 3日(金)
8	第 5 回 看護専門研修会	8月30日(木)～31日(金)	4月 1日(日)～ 8月10日(金)
9	第10回 口腔ケア研修会	9月12日(水)～14日(金)	4月 1日(日)～ 8月24日(金)
10	第36回 スタッフ育成・管理担当者研修会	10月12日(金)～13日(土)	6月 1日(金)～ 9月21日(金)
11	第 1 回 がん化学療法看護研修会	11月10日(土)～11日(日)	6月 1日(金)～ 10月19日(金)

カリキュラム等詳細は、ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

<http://www.zcssz.or.jp/>

テ ー マ	定 員	対 象 職 種										
		医 師	看 護 師	保 健 師	栄 養 士	薬 剤 師	臨 床 検 査 技 師	放 射 線 技 師	PT ・ OT ・ ST	歯 科 衛 生 士	事 務 職 員	そ の 他
あなたから始める医療安全の取り組み —自分を守り、スタッフも守るため—	30		○									
チーム医療への貢献と専門薬剤師取得へ向けての知識の習得	48					○						
甲状腺疾患の診断と検査のポイント	48						○					
N S Tほか、チーム医療と栄養管理について学ぶ	50				○							
元気・やる気生まれるコミュニケーション法とは	40	○		○	○							
これからの時代、保健事業に大切な企画力・評価力を習得	40			○	○						○	
地域保健・職域保健・学校保健など、公衆衛生活動の実勢の場における企画立案や評価のための研究活動を行い、学会発表・論文執筆にいたる一連の過程について学習する。	30	○	○	○	○						○	○※1
蘇生現場におけるチーム医療と看護師の未来 —ICLSコースを受講して考える—	21		○									
口腔ケア実践のための技能向上と各職種間との連携	48	○	○	○	○				○	○		○※2
スタッフ育成のためのコーチングとティーチング	50		○	○	○	○	○	○	○	○		
がん化学療法を受ける患者のQOL向上のために	30		○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※1：大学院生等

※2：介護福祉士・社会福祉士等

第40回 看護師研修会

～現場で取り組む安全対策と感染管理～

【研修期間】 平成24年6月9日(土)9時00分～ 10日(日)16時15分

【テーマ】 あなたから始める医療安全の取り組み
—自分を守り、スタッフも守るために—

【ねらい】 医療の最終行為者となることの多い看護師が、医療安全と感染管理の基本的な考えかたを再確認し、安全性を高めるために各施設の医療安全対策の方針にそって、自らが実践できる具体的な取り組みを見出す。

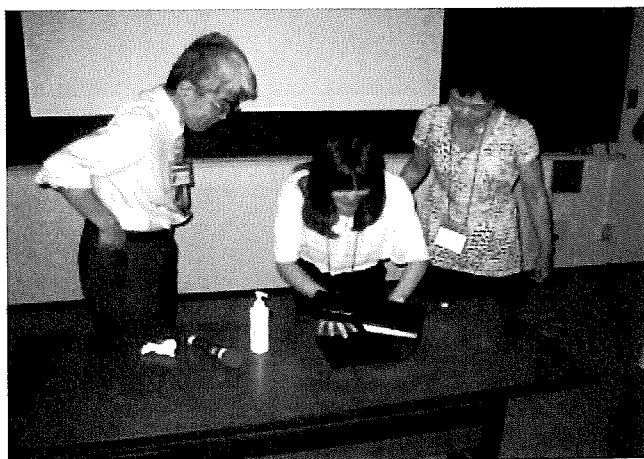
【対象者】 各部署で医療安全に取り組んでいる者、および取り組もうと思っている臨床経験4年目以上の看護師

【定員】 30名

【受講料】 18,000円

【申込期間】 平成24年4月1日(日)～ 5月18日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切る場合がございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/9	医療安全における ノンテクニカルスキル	自治医科大学医学部医療安全対策部 教授 長谷川 剛
	医療安全とシミュレーション教育	自治医科大学メディカルシミュレーションセンター 講師 鈴木 義彦 助教授 浅田 義和 自治医科大学附属病院医療安全対策部 看護師長 寺山 美華 自治医科大学附属病院看護部 看護師長 天谷恵美子
	まとめ（ディブリーフィングの上手なやり方）	自治医科大学医学部医療安全対策部 教授 長谷川 剛
6/10	感染対策に果たす看護師の役割	自治医科大学附属病院感染制御部 感染管理認定看護師 主任 渡邊美智代
	多剤耐性菌に対する 医療施設での取り組み	自治医科大学附属病院感染制御部 准教授 林 俊治
	医療関連感染への対策	自治医科大学附属病院感染制御部 部長 森澤 雄司
	グループワークと演習	自治医科大学附属病院感染制御部 部長 森澤 雄司 自治医科大学附属病院感染制御部 感染管理認定看護師 主任 渡邊美智代

～受講生の声～

- ・講義内容がわかりやすく時間があっという間で充実した研修会でした。
- ・再学習、再認識でき、基本が大事だと改めて分かりましたので実行したいです。
- ・今回学んだことを現場で生かしたいです。

第32回 薬剤師研修会

～専門薬剤師取得へ向けての基礎知識の習得と病院薬剤師が取り組むべき諸業務への対応～

【研修期間】 平成24年6月13日(水)9時00分～ 15日(金)12時15分

【テーマ】 チーム医療への貢献と専門薬剤師取得へ向けての知識の習得

【ねらい】 今病院薬剤師は、医療従事者の一員としてチーム医療に貢献していくとともに、一方で「がん専門薬剤師」や「感染制御専門薬剤師」などの認定取得にせまられている。

本研修では、病院薬剤師がチーム医療に貢献していく上での必要な知識および専門薬剤師の認定を取得していく上での基礎的な知識の習得を図るとともに、病院薬剤師としての資質の向上を図る。

【対象者】 病院勤務薬剤師

【定員】 48名

【特記事項】 ※当研修会は(財)日本薬剤師研修センター「研修認定薬剤師制度」の集合研修として申請予定です。

【受講料】 25,000円

【申込期間】 平成24年4月1日(日)～ 5月25日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切る場合がございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/13	薬剤師が知っておくべき検査値とバイタルサインの知識	自治医科大学医学部薬理学講座 臨床薬理学部門 助教 牛島健太郎
	妊婦授乳婦への薬物療法	自治医科大学医学部産科婦人科学講座 教授 松原 茂樹
	呼吸器感染症の治療 抗菌薬の使い方	自治医科大学医学部内科学講座 呼吸器内科学部門 准教授 坂東 政司
	がん化学療法における薬剤師の役割 外来化学療法とチーム医療	自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 中澤 寛仁 (がん薬物療法認定薬剤師)
6/14	医薬品とサプリメントの相互作用 注意が必要な相互作用	自治医科大学医学部薬理学講座 臨床薬理学部門 教授 藤村 昭夫
	医療事故防止対策への薬剤師のかかわり なぜ間違える、どう防ぐ	自治医科大学医学部 メディカルシミュレーションセンター 教授 河野龍太郎
	グループディスカッション グループ討論・発表	自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 泉 玲子 主任薬剤師 塚原 由江 主任薬剤師 五月女浩史 がん化学療法認定薬剤師 霜多 博孝 薬剤師 片野 昌宏
	施設見学	
6/15	NST活動 薬剤師の関わり	自治医科大学附属病院薬剤部 薬剤師 村上 径世 (経腸栄養学会認定 NST 専門薬剤師)
	緩和ケアへの薬剤師のかかわり	自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 渡邊健時郎 (緩和薬物療法認定薬剤師)

～受講生の声～

- ・ 内容が理解しやすく、即実践に活かせる講義ばかりで充実した研修会でした。
- ・ NSTを勉強し認定を取得したいと考えていましたので、受講し取得への意欲がわきました。
- ・ 妊娠中薬やサプリメントの相互作用、医療安全など、普段情報を得る機会が少ない分野の講義が興味深く為になりました。

第39回 臨床検査技師研修会

～甲状腺疾患の臨床検査～

【研修期間】 平成24年6月21日(木)8時30分～ 22日(金)17時00分

【テーマ】 甲状腺疾患の診断と検査のポイント

【ねらい】 甲状腺スクリーニング検査が増加しつつある中、多様化する検査法の効果的技術の習得が要求されている。
本研修会では、甲状腺疾患の病態を学び、その診断に用いる検査のポイントおよび技術について研修し、実際の現場で役立たせていただきたい。

【対象者】 臨床検査技師

【定員】 48名

【受講料】 18,000円

【申込期間】 平成24年4月1日(日)～ 6月1日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切ることがございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/21	甲状腺疾患の診断と考え方	自治医科大学医学部内科学内分泌代謝学部門 准教授 大須賀純一
	甲状腺疾患の病理	自治医科大学医学部病理学人体病理学部門 准教授 山口 岳彦
	甲状腺ホルモンの機能と検査のポイント	自治医科大学附属さいたま医療センター 教授 河野 幹彦
	甲状腺の自己抗体	自治医科大学医学部臨床検査医学 教授 山田 俊幸
	福島における甲状腺検診について	福島県立医科大学附属病院検査部 専門医療技師 羽田 良子
6/22	甲状腺疾患の超音波検査	自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床検査部 准教授 尾本きよか
	甲状腺の自己抗体超音波検診	自治医科大学医学部臨床検査医学 助教 松永 宏明
	先天性甲状腺疾患	自治医科大学医学部小児科学 講師 福田冬季子
	甲状腺疾患の外科治療	自治医科大学医学部耳鼻咽喉科学 准教授 西野 宏
	放射線と健康被害	自治医科大学医学部RIセンター 管理主任 菊地 透

～受講生の声～

- ・ 知識の整理や勉強不足だった点が再認識できたため今後の業務に生かしたい。
- ・ 全国の施設の方々と交流がとれ大変良かったです。
- ・ 基礎から丁寧に教えていただけ、解りやすい説明で勉強になりました。

第52回 管理栄養士研修会

～チーム医療における栄養管理～

【研修期間】 平成24年6月29日(金)9時30分～ 30日(土)16時45分

【テーマ】 NSTほか、チーム医療と栄養管理について学ぶ

【ねらい】 管理栄養士は栄養療法の専門家としてNSTのみならず様々な医療チームの一員であり、病棟や診療科担当の管理栄養士として活躍している現状にある。

今年度は、様々な栄養療法について研鑽するとともに、チームにおける管理栄養士の役割についても学ぶ機会としたい。

【対象者】 栄養管理に携わる管理栄養士 経験3年以上

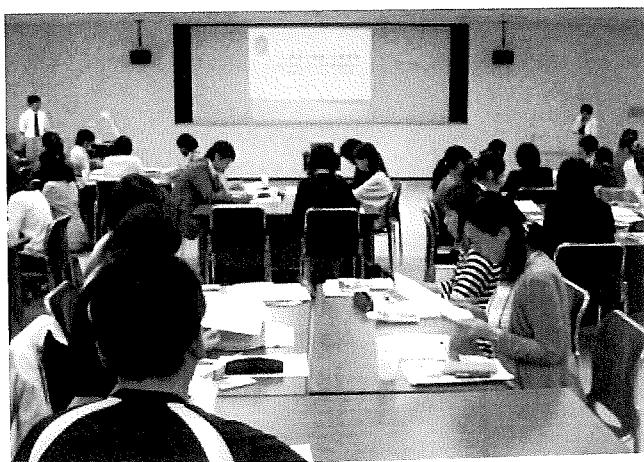
【定員】 50名

【特記事項】 ※当研修会は日本糖尿病療養指導士1群、病態栄養専門師更新のための単位申請予定です。(平成23年度は日本糖尿病療養指導士更新単位 1群2単位、病態栄養専門師更新単位3点認定)

【受講料】 18,000円

【申込期間】 平成24年4月1日(日)～6月8日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切ることがございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
6/29	アミノ酸の最新情報（仮）	昭和大学藤が丘病院 NSTチェアマン 外科講師 千葉 正博
	消化器がん術後の栄養管理	公益法人がん研究会 がん研有明病院 消化器センター 消化器外科 NST副委員長 峯 真司
	症例検討 グループワーク	公益法人がん研究会 がん研有明病院 栄養科 科長 中濱 孝志
6/30	炎症性腸疾患とチームアプローチ	自治医科大学内科学講座消化器内科部門 助教 佐藤 博之
	腎代替療法とチームアプローチ	自治医科大学腎泌尿器外科学講座 腎臓外科学部門 教授 八木澤 隆
	チームアプローチによる糖尿病治療 ～多職種連携の重要性～（仮）	さいたま赤十字病院 糖尿病内分泌内科部長 生井 一之
	チームアプローチによる糖尿病治療 ～看護師の役割～	自治医科大学附属病院看護部 看護師長 糖尿病認定看護師 馬場千恵子
	チームアプローチによる糖尿病治療 ～薬剤師の役割～	自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部 副薬剤部長 大塚 潔
	チームアプローチによる糖尿病治療 ～理学療法士の役割～	自治医科大学附属さいたま医療センター リハビリテーション部 理学療法士 門手 和義
	チームアプローチによる糖尿病治療 ～管理栄養士の役割～	自治医科大学附属病院臨床栄養部 栄養管理室長 佐藤 敏子
	事例検討 グループワーク 模擬カンファレンス	上記のとおり、生井一之、馬場千恵子、 大塚 潔、門手和義、 佐藤敏子（敬称等省略）

～受講生の声～

- ・講義内容が濃く、新しい情報をたくさん得られ有意義でした。
- ・基礎から応用まで順にカリキュラムが組まれており、分かりやすく順序立てて考えられて良かったです。
- ・スキルアップになり、意見交換や実習により刺激され意識が高揚されました。

第31回 健康学習研修会

～行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得～

【研修期間】 平成24年7月5日(木)9時00分～6日(金)17時15分

【テーマ】 元気・やる気生まれるコミュニケーション法とは

【ねらい】 入口は健康診断のデータ。保健医療従事者の関わりが意識を動かし、住民が自ら行動を興し、自分らしい健康につながっていくサポートが求められます。知識伝達、健康体験は健康行動のきっかけにはなりません。健康問題を自分事として考え、継続的な健康行動を興すコミュニケーション法が健康学習の基本です。人のやる気を引き出す個対個のコミュニケーション法、集団を元気にする教室の運営法、そして単なる事業説明の広報でなく、住民が参加したくなる広報の工夫のキーポイントもつかんでいただきます。保健医療従事者に求められる健康学習の基本的技法・発想がわかる2日間です。

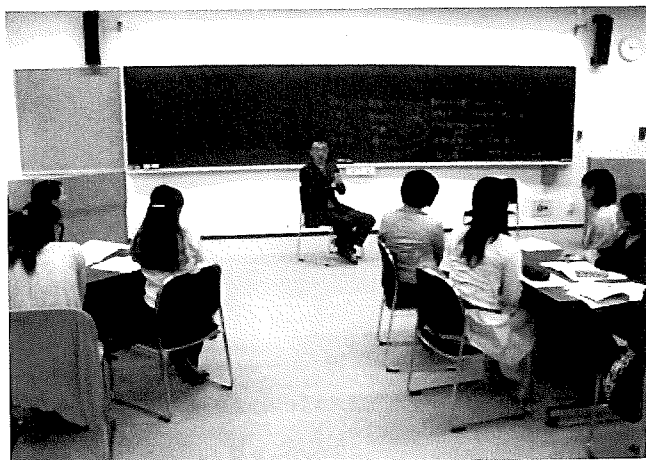
【対象者】 保健師、栄養士、医師

【定員】 40名

【受講料】 18,000円

【申込期間】 平成24年4月1日(日)～6月15日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切ることがございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
7/5	住民が元気になるコミュニケーション技法 ～伝え上手、尋ね上手、返し上手～	日本ヘルスサイエンスセンター 所長 石川 雄一
	住民の視点に立ったメタボリック症候群教室 ～住民の興味を引き出す広報の工夫そして事業運営法～	(株)キャンサースキャン 研究開発部長 石川 善樹
	集団対象の健康学習の基本 ～ムードの作り方、本音の引き出し方、楽しくなる話題の展開法～	日本ヘルスサイエンスセンター 所長 石川 雄一
7/6	結果につながる健康学習の実践 ～楽しさ、行動変容、仲間づくりにつながる事業展開～	医療法人博仁会共済病院 院長 本松 茂
	メタボリック症候群指導の実際 ～職場で使える具体的スキルの習得そしてシナリオの作成法～	医療法人中山会宇都宮記念病院 総合健診センター 保健師 千葉 暢子
	参加者のやる気を引き出す教室の組み立て方・運営法	新潟県燕市役所 保健師 石田奈津子
	人が動く・組織が動くコミュニケーション&総合力	オフィス シェラ ソート 代表 藤田 美保

～受講生の声～

- ・先生方だけでなく参加者も経験豊富な方が多く刺激になりました。
- ・今まで自分自身のことをよくわかっていなかったと感じました。今後は住民や患者さんが本当に思っていることを聴けるよう実践していきたいです。
- ・心の健康が満たされ、元気が出ました。また受講したいです。

第12回 健康企画・評価研修会

～住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法～

【研修期間】

平成24年8月2日(木)9時00分～3日(金)17時30分

【テーマ】

これからの時代、保健事業に大切な企画力・評価力を習得

【ねらい】

保健事業は何をもって成功と言えるのか。住民の満足度、データ改善、保健医療従事者の納得度、医療費の安定化……。立場、時代、社会状況により健康のキーワードの優先順位は変わります。目標設定を明確にした内容、運営法の工夫が求められます。健康情報の伝達に加え、保健医療従事者に「企画力」「評価力」「人材育成力」「連携力」「広報力」が求められる時代となりました。とりわけ、医療費の安定化が叫ばれる今、事業の企画法に知恵が必要です。結果の出る保健事業の企画・評価について総合的に習得していただきます。時代と社会が求める自分づくりの2日間。参加して損をしたとは言わせません。

【対象者】

保健師、栄養士、担当者及び責任者（例：保健課長）

【定員】

40名

【受講料】

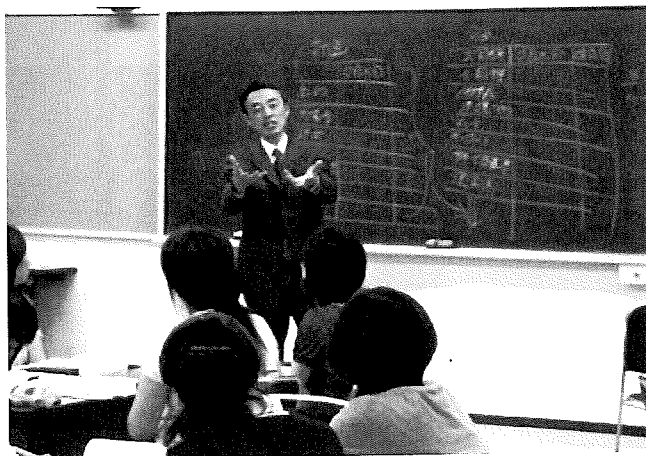
18,000円

【申込期間】

平成24年4月1日(日)～7月13日(金)

※定員に達しましたら事前に締め切ることがございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
8/2	健康事業企画の基本的考え方 ～まちづくりを目指した保健事業の企画法～	日本ヘルスサイエンスセンター 所長 石川 雄一
	参加したくなる心の元気教室の企画法 ～参加型、楽しい、元気になる、そして結果に繋がる教室運営法～	
	住民を元気にするスタッフの育成法 ～住民がやる気になり、行動を起こす事業の企画運営法～	
8/3	具体的事例検討会 ～事業計画→実施→評価のすべて～ ・事業を通して人材育成するには ・連携していく事業の展開法 ・医療費、行動、人材育成の評価	日南市役所 健康増進課 健康支援係長 近藤 真理
	保健医療従事者と事務職の調和を求めて ～上司と担当者のコミュニケーションの進め方～ ・自分の人間関係を知る ・人間を知ることが豊かな人生を過ごせる ・人生変革の考え方～陽転思考を身に付ける～	(社)新潟県労働衛生医学協会 常務理事 大西 金吾
	住民が参加したくなる広報の実際 ・パンフレット作成法、アナウンスメントの方法が2時間でつかめる	(株)キャンサースキャン 代表 福吉 潤

～受講生の声～

- ・元気に前向きな思考で取り組むことが、仕事でも人生でも大切とわかりました。
- ・医療安全・危険回避・医療裁判・院内感染対策の講義を通じ、今後を考えていく機会となりました。
- ・講師の話が現場に即しており興味深かったです。

第33回 保健活動研修会

～保健活動における研究：計画から学会発表・論文執筆まで～

【研修期間】

平成24年8月22日(水)9時00分～24日(金)15時15分

【テーマ】

地域保健・職域保健・学校保健など、公衆衛生活動の実勢の場における企画立案や評価のための研究活動を行い、学会発表・論文執筆にいたる一連の過程について学習する。

【ねらい】

日常の保健活動を発展させていくためには、常に現状を評価し、新たな目標の設定と計画の策定が必要である。そのためには保健活動の現場における調査・研究の手法を身につけ、実際に研究を行い、最終段階として学会発表や論文執筆により世の中からの評価を受けなければならない。本研修会ではまず研究の基礎となる疫学・統計学の基礎を学び、その上で研究計画の立案についてグループワークを通じて学習する。さらに、学会発表や論文執筆、雑誌の編集委員会との対応などを議論する。

【対象者】

地域保健・職域保健・学校保健の現場で保健活動を実践する保健師、看護師、栄養士、医師など
今後、保健活動において研究を行う予定がある者

【定員】

30名

【特記事項】

※受講生の研究課題についての講師への個別相談、もしくは全体での検討を実施する予定です。

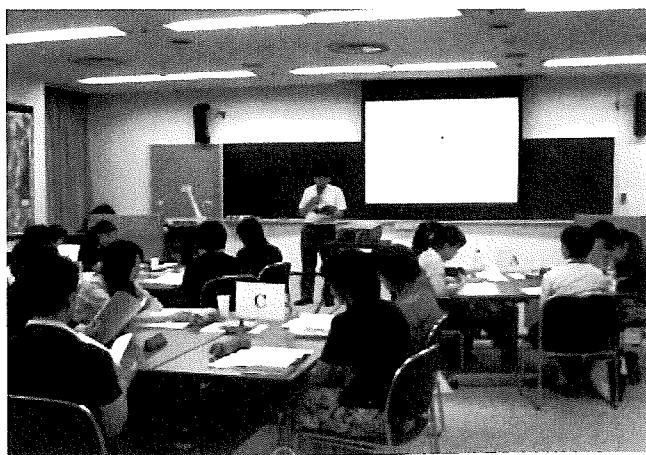
【受講料】

25,000円

【申込期間】

平成24年4月1日(水)～8月3日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切ることがございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
8/22	疫学の基礎	自治医科大学医学部地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 中村 好一
	調査・研究の実際 (1) 社会調査の実際を中心に	自治医科大学医学部地域医療学センター 公衆衛生学部門 講師 青山 泰子
	情報収集・文献検索の実際 コンピュータを用いた演習	自治医科大学看護学部 教授 渡邊 亮一
	健康政策策定における疫学の役割	地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究所 アドバイザー 柳川 洋
8/23	統計学の基礎	自治医科大学医学部地域医療学センター 公衆衛生学部門 助教 坪井 聡
	調査・研究の実際 (2) バイアスや交絡の制御を含む	自治医科大学医学部地域医療学センター 公衆衛生学部門 講師 定金 敦子
	グループワーク 与えられた課題について各グループで 研究計画を策定する	浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島 俊之 自治医科大学医学部地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 中村 好一 准教授 上原 里程 講師 青山 泰子 講師 定金 敦子 助教 坪井 聡
8/24	研究と倫理	山梨大学大学院医学工学総合研究部 社会医学講座 教授 山縣然太郎
	エクセルによる統計解析の実際 コンピュータを用いた演習	パソコンじゅく チューター 原 久子 自治医科大学医学部地域医療学センター 公衆衛生学部門 准教授 上原 里程 講師 青山 泰子 講師 定金 敦子 助教 坪井 聡
	学会発表と論文作成	自治医科大学医学部地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 中村 好一

～受講生の声～

- ・ 講義だけでなく、グループワークや演習があり実践から学ぶことができ、とても充実した3日間を過ごせました。
- ・ 研修会の内容や講師の先生方にとっても満足しました。今後の相談にも乗っていただけそうで心強いです。
- ・ 先生方に感謝し今後の力としていきたいです。

第5回 看護専門研修会

～いざという急変に備えてICLSを受講しよう！～

【研修期間】

平成24年8月30日(木)9時15分～31日(金)15時45分

【テーマ】

蘇生現場におけるチーム医療と看護師の未来
—ICLS コースを受講して考える—

【ねらい】

ICLS ; Immediate Cardiac Life Support コースとは、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。研修の初日は、AHA2010新ガイドラインの主な変更点を踏まえた心肺蘇生に関する講義と、突然の心停止に遭遇した場合、蘇生現場における多職種とのコラボレーションのあり方について、ワールド・カフェという方法を用いてディスカッションします。また、研修2日目は、専任の医師やインストラクターによる実技実習を中心としたICLSを実施します。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療における看護師としての心構えを習得します。2日間を通して、蘇生現場におけるチーム医療と看護師の未来について、皆様と共に考えていきたいと思います(ICLSコース受講後は、日本救急医学会からの修了証が授与されます)。

【対象者】

ICLSに関心のある看護職

【定員】

21名

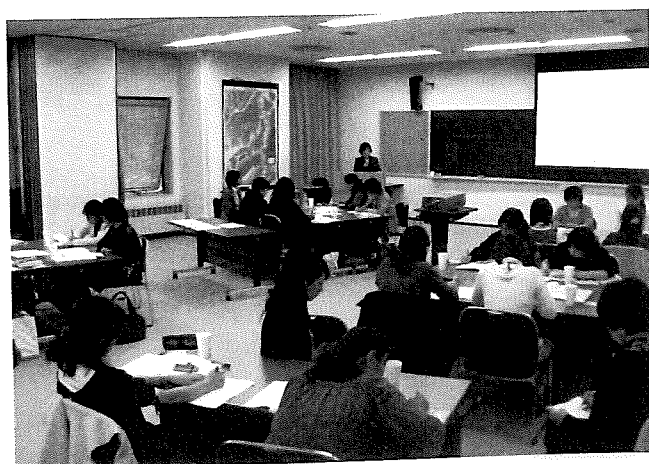
【受講料】

18,000円

【申込期間】

平成24年4月1日(日)～8月10日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切る場合がございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
8/30	ガイドライン2010の新しい心肺蘇生法と救急看護について	自治医科大学看護学部成人看護学 教授 中村 美鈴
	チーム医療とコラボレーション	自治医科大学看護学部成人看護学 准教授 小原 泉
	蘇生現場におけるチーム医療と看護師の未来 1 ワールド・カフェ（グループ討議）	自治医科大学看護学部成人看護学 教授 中村 美鈴 准教授 小原 泉 講師 松浦利江子 助教 北村 露輝 助教 段ノ上秀雄
	蘇生現場におけるチーム医療と看護師の未来 2 成果発表・まとめ	
	蘇生現場におけるQ&A	
8/31	ICLSコースのオリエンテーション	自治医科大学卒後臨床研修センター 准教授 早瀬 行治
	ICLSコースの実技実習 1 BLS、気管管理、除細動	自治医科大学卒後臨床研修センター 准教授 早瀬 行治 自治医科大学看護学部成人看護学 教授 中村 美鈴 准教授 村上 礼子 助教 荒木 智絵 自治医科大学附属病院 救急看護認定看護師 谷島 雅子
	ICLSコースの実技実習 2 さまざまな病棟急変の事例	茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院 土浦協同病院 ICLSインストラクター 上澤 弘美
	まとめ 蘇生現場における他職種コラボレーションのあり方と看護師の役割	自治医科大学看護学部成人看護学 教授 中村 美鈴

～受講生の声～

- ・グループワークや情報交換会での交流も貴重な経験となり、意義のある2日間でした。
- ・看護スタッフの支援・介入について悩むことが多いのですが、今回習得したことを実践で生かしたいです。
- ・他職からの参加だったが、幅広く看護の分野も学べ良かったです。

第10回 口腔ケア研修会

～口腔ケアの実践に向けて～

【研修期間】 平成24年9月12日(水)9時00分～14日(金)12時15分

【テーマ】 口腔ケア実践のための技能向上と各職種間との連携

【ねらい】 今回は、口腔からの感染予防を主とした口腔管理と摂食・嚥下・咀嚼など口腔機能の保持増進に向けた口腔ケアについてその基本事項を整理確認するとともに、多忙な日常業務の中で口腔ケアを効率よく実践するために必要な技術の習得および他職種間の連携について提案する

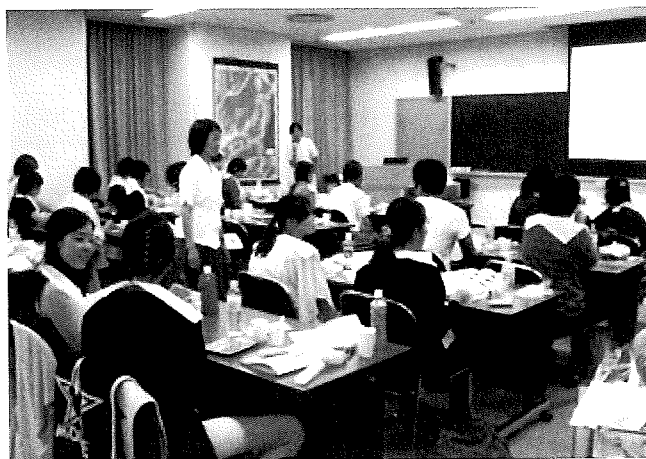
【対象者】 医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、保健師、介護福祉士、栄養士、言語聴覚士など

【定員】 48名

【受講料】 25,000円

【申込期間】 平成24年4月1日(日)～8月24日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切ることがございます。

講義風景



～受講生の声～

- ・口腔ケアの重要性を改めて感じました。現場に戻って学んだ知識や実践技術を伝達し、今後につなげたいです。
- ・重症心身障害者に関する講義は、感動すら覚える程参考になりました。ありがとうございました。
- ・口腔疾患の基礎知識からケアまで広く学ぶことができました。

【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
9/12	口腔疾患の基礎知識	自治医科大学医学部歯科口腔外科学 教授 草間 幹夫
	口腔ケアの基礎	自治医科大学医学部歯科口腔外科学 准教授 小佐野仁志
	病院における口腔ケアシステム －NSTチーム回診－	鎌ヶ谷総合病院歯科口腔外科 部長 星 健太郎
	感染性心内膜炎の予防 口腔ケアの有用性について	自治医科大学医学部外科学心臓血管外科学部門 准教授 齊藤 力
	摂食・嚥下・咀嚼リハビリテーション	自治医科大学医学部歯科口腔外科学 助教 伊藤 弘人
9/13	全身疾患と口腔	自治医科大学外科学歯科口腔外科学 講師 野口 忠秀
	口腔粘膜疾患と口腔ケア	自治医科大学医学部歯科口腔外科学 教授 神部 芳則
	がん患者の口腔ケア 連携をスムーズに行うためには？	がん・感染症センター都立駒込病院 歯科口腔外科 部長 茂木 伸夫
	造血幹細胞移植患者に対する口腔ケア 病棟看護師との連携の試み	自治医科大学附属さいたま医療センター 歯科口腔外科学 准教授 小佐野仁志 主任歯科衛生士 鈴木 美佳
	口腔ケアの実習 －ブラッシング法を含めて－	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 主任歯科衛生士 青柳 悦子 歯科衛生士 北方 恵美 歯科衛生士 島村貴美子
9/14	緩和ケアにおける口腔ケアの役割	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 病院助教 中山 竜司
	摂食・嚥下障害患者の口腔ケア	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 若林 宣江
	脳血管障害患者の口腔ケア	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 鈴木 祐子
	重症心身障害者施設における口腔ケア	国際医療福祉大学 国際医療福祉リハビリテーションセンター 歯科口腔外科 講師 内藤 浩美

第36回 スタッフ育成・管理担当者研修会

～スタッフ育成のためのコーチングとティーチングの実際を学ぼう～

【研修期間】

平成24年10月12日(金)9時00分～13日(土)16時45分

【テーマ】

スタッフ育成のためのコーチングとティーチング

【ねらい】

看護管理者をはじめとする保健医療分野の管理者・教育担当者としてコーチングとティーチングの実際を学び、スタッフ育成に向けて柔軟で効果的な関わりができる能力を身につける。

研修者の所属部署における効果的なスタッフ指導について理解することができる。

【対象者】

看護単位の責任者とその任にあたる者、および看護単位でスタッフ育成の任にあたる者

関連職種の単位の責任者とその任にあたる者、および関連職種の単位でスタッフ育成の任にあたる者

【定員】

50名

【特記事項】

この研修会では、「対人援助のためのコーチング 利用者の自己決定とやる気をサポート」(発行元 中央法規出版 著者 諏訪茂樹)を利用しますので、お持ちの方はご持参ください。

また、お持ちでない方には、研修会当日販売いたします。

【受講料】

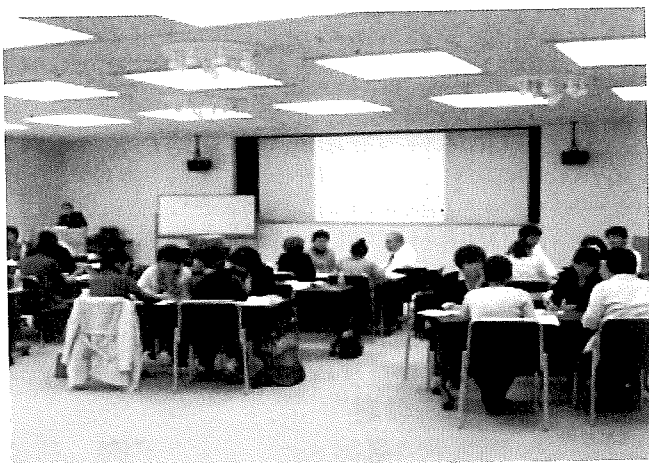
18,000円

【申込期間】

平成24年6月1日(金)～9月21日(金)

※定員に達しましたら事前に締め切ることがございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
10/12	スタッフ育成のためのティーチングⅠ コーチングとの使い分け	東京女子医科大学大学院看護学研究科 准教授 諏訪 茂樹
	スタッフ育成のためのティーチングⅡ 指示と助言のトレーニング	
10/13	スタッフ育成のためのコーチングⅠ 目標管理とコーチング	
	スタッフ育成のためのコーチングⅡ コーチングの実際（ロールプレイ）	
	スタッフ育成のためのコーチングⅢ プロセスレコードによるスキルアップ	

～受講生の声～

- ・ロールプレイや演習があり、皆とコミュニケーションが図れ、また学びも深くなった。先生のお人柄か、おだやかに楽しく受講でき有意義でした。
- ・ティーチング・コーチングについて深く学べ大変勉強になりました。今後に役立てたいです。
- ・今後、後輩やスタッフにも勧めたい研修会でした。

第1回 がん化学療法看護研修会

～がん化学療法を受ける患者のQOL向上のために～

【研修期間】

平成24年11月10日(土)9時15分～11日(日)16時00分

【テーマ】

がん化学療法を受ける患者のQOL向上のために

【ねらい】

がん化学療法の進歩は著しく、分子標的薬の開発が盛んに行われている。また、がん化学療法は1つの抗がん剤単独で行われることは少なく多剤併用が主流であり、長期にわたる治療であること、副作用に対する適切な支持療法が必要であること、という特徴がある。そのため看護師は、新薬も含めて最新のがん化学療法についての知識を活用しながら、がん化学療法を受ける患者への意思決定やセルフケアへの支援、副作用症状のマネジメント等の看護を提供することが求められる。本研修会は、こうした看護師の役割をふまえて、がん化学療法を受ける患者に対する最新の看護を学ぶ機会としたい。

【対象者】

がん化学療法看護に関心がある看護師等の医療従事者

【定員】

30名

【受講料】

18,000円

【申込期間】

平成24年6月1日(金)～10月19日(金)
※定員に達しましたら事前に締め切る場合がございます。

講義風景



【日 程 表】

カリキュラム及び講師の一部が変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
詳細はホームページをご覧ください。

日付	講義テーマ	講師
11/10	がん化学療法の基礎知識	自治医科大学附属病院臨床腫瘍科 教授 藤井 博文
	がん化学療法を受ける患者へのセルフ ケア支援	獨協医科大学病院 がん看護専門看護師 岸田さな江
	副作用のマネジメント (1)	選定中 (歯科衛生士)
	副作用のマネジメント (2)	栃木県立がんセンター がん化学療法看護認定看護師 松本 幸絵
	副作用のマネジメント (3)	栃木県立がんセンター がん化学療法看護認定看護師 吉川 直子
	副作用マネジメントに関する事例検討 グループワーク	自治医科大学看護学部 教授 本田 芳香 他5名
11/11	抗がん剤の安全な投与管理	自治医科大学附属病院 がん化学療法看護認定看護師 田中 康代
	がん化学療法を受ける患者の意思決定 支援	自治医科大学看護学部 准教授 小原 泉
	がん化学療法を受ける患者の意思決定 支援に関する事例検討 グループワーク	自治医科大学看護学部 教授 本田 芳香 他5名

～受講生の声～

- ・ 副作用マネジメントから薬物療法の最新動向まで幅広く学べ有意義でした。
- ・ 分子標的薬を知ることができました。チーム医療確立の為、今回学んだ知識を実践に役立てていきたいです。
- ・ 治療薬の内容・副作用への対応・患者背景などを踏まえた上での看護支援の必要性を強く感じました。

申込要領等

申込方法

1. 「平成 24 年度中央研修会受講申込書」を同封のうえ「郵送」でお申込みください。
必要事項を漏れなくご記入ください。

宛先 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160
財団法人 地域社会振興財団事務局研修課 宛

2. 複数お申込の場合
複数お申込の際には、一通の封筒でまとめてお申込いただいても構いませんが、「申込書」は“研修会毎に一人一枚”同封してください。

受講の決定及び通知

1. 決定は、受講申込書受付け順で行います。
※なお定員を超えた場合は、調整させていただくことがありますので、ご了承ください。
2. 通知は、締切日以降若しくは定員に達した時点で**受講決定通知書**をメール便で送付いたします。遅くとも研修会開催の 10 日前までには発送いたします。
《送付書類》受講決定通知・受講案内・研修会の日程表・交通のご案内等
3. 事情により研修会が中止になることもございますのでご了承ください。
その際お申込いただいた方には、開催中止の旨、通知いたします。

受講料・領収書

25,000円 (3日間)

18,000円 (2日間)

各研修会ページにてご確認ください。

※研修会初日の受付時に「現金」でお支払いください。引き換えに**勤務先名で領収書**を発行いたします。なお、他に希望する宛名がある方は、「中央研修会受講申込書」の「領収書の宛名」の欄にご記入ください。

研修会初日

各研修会の初日に、受付・開講式・オリエンテーション・情報交換会を行います。
詳細は、決定通知送付時にお知らせします。

修了証書

研修会の全日程を受講された方に修了証書を交付いたします。

研修会場・交通アクセス

地域医療情報研修センター（自治医科大学構内施設：表紙写真）

《所在地》〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160

お越しになる際の交通手段については、なるべく公共の交通機関等をご利用ください。

会場の最寄駅は、JR宇都宮線（東北本線）の「自治医大駅」です。同駅東口から、徒歩約8分となります。詳しくは、「会場への交通のご案内」（裏表紙）をご参照ください。

なお、第5回看護専門研修会は、上記ご案内の自治医科大学記念棟7階（〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1）「自治医大駅」東口から徒歩 約15分となります。

宿 泊

1. 宿泊のご案内（各自ご手配願います。）

研修会場には宿泊施設がございませんが、周辺の宿泊施設としては宇都宮市内及び小山市内に多数ございます。

なお次の2施設は“研修受講者ご優待料金”にてご利用できます。

宿 泊 施 設	ホテルニューイタヤ（宇都宮市内）	ホテルエクセルイン小山（小山市内）
ア ク セ ス 室 タ イ プ	J R 宇都宮駅西口から徒歩5分 シングル	J R 小山駅東口から徒歩2分 シングル
料 金	（朝食バイキングつき） 6,500円	（朝食サービスあり。和食・パン・コーヒー等） 5,800円
広 さ	（サービス料・消費税込み） 15㎡／室	（サービス料・消費税込み） 12㎡／室
設 備	テレビ・湯沸しポット・お茶・石鹸・リンスインシャンプー・歯磨きセット・タオル・バスタオル・冷蔵庫・ドライヤー・浴衣・スリッパ	
電 話／F A X	028-635-5511(代)／028-633-3772(FAX)	0285-30-5555(代)／0285-30-6700(FAX)
お 支 払 い	現金・クレジットカード可	
ホームページ	http://www.newitaya.com/	http://www.excelinn-oyama.com/
研修会場までの交通案内	J R 宇都宮駅から上り 3 駅目 当研修会宿泊者数10名様以上で送迎あり *送迎の可否は研修会開催約1週間前にホテルにご確認ください。	
	送迎バス無し J R 小山駅から下り2駅目	

2. お申込方法等

直接ホテルにお申込ください。その際「地域社会振興財団の研修会に参加する」とお伝えください。特に、ホテルニューイタヤの場合は送迎の可否にかかわりますので、必ずお伝えください。インターネットによるお申込の場合で申し出がない場合は、ご優待にならない場合がございます。また、お申込の取り消し・変更も直接ホテルにご連絡ください。

お 問 合 せ

☎ 受付時間: 月曜日～金曜日(祝日を除く) 午前8時30分～午後5時15分

財団法人 地域社会振興財団事務局研修課

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160

自治医科大学地域医療情報研修センター内

T E L 0285-58-7436

F A X 0285-44-7839

E-mail fdc@jichi.ac.jp

U R L <http://www.zcssz.or.jp/>

現地研修会のご案内

▼ 第359回 山形県三川町



当財団の研修事業は、今回ご案内申し上げました中央研修会の他に「現地研修会」と称し、地域住民の方々をはじめ保健・医療・福祉業務に携わる方を対象として1983年から全国各地で開催しております。この研修会は、「健やかな長寿社会づくり」に寄与するため、都道府県市町村等の保健・医療・福祉関係機関及び当該推薦機関が研修会を企画いただき、開催に係る経費等の助成・お手伝いを行っています。

要件は次のとおりですが、詳細等に関してはホームページをご覧ください。お気軽に当事務局までお問合せください。

◆応募要件

地域社会における保健・医療・福祉に関連するテーマをもって開催する研修会が応募対象となります。具体的には、次の事項などをテーマとした研修です。

- ・「住民のための生活習慣病対策」をテーマにした研修
- ・地域住民の方々に、教育講演等を通じて、自らの健康への関心を高めるための研修
- ・地域社会において保健・医療・福祉事業に携わるの方々に、それぞれの事業活動を推進するにあたって必要となる技術及び情報の提供を行うとともに、関係機関の連携を深めるための研修
- ・地域医療に携わる医師、保健師、看護師及び医療技術者など地域医療従事者の方々に、最新の医学知識や技術の提供ができる研修

◆応募対象機関

都道府県市町村等の保健・医療・福祉関係機関及び当該推薦機関

平成24年度中央研修会受講申込書

ご希望の研修会名	第 回	研修会
研 修 期 間	平成 年 月 日 から 平成 年 月 日まで	

受講者	ふりがな 氏 名					(男・女)
	生年月日	19 年 月 日 (歳)				
勤務 機 関	ふりがな 名 称				病床数	床
	ふりがな 住 所	〒 都 道 府 県				
	所 属			職名(役職)		
	職種での 経験年数	年	メールアドレス	* Eメールにより参加者との情報交換を行いたい方のみご記入ください。		
	電話番号	— —		(内線)		
	F A X	— —				
	区 分 該当番号に○をつけてください。	1. 国立・国立大学附属病院 6. 個人病院 2. 県立・県立大学附属病院 7. 市・区役所 町・村役場 3. 市町村立・市立大学附属病院 8. 保健所 健康福祉センター 4. 私立大学附属病院 9. 民間企業 5. 民間団体関連病院 10. その他				
領収書の宛名						

★研修会受講申込みに係る連絡先

★受講決定通知書等送付先(勤務機関以外を希望される場合のみ記入)

*ご都合のよろしい方法を選択の上ご記入願います。

Eメール ・ FAX ・ 電話

〒

★その他・ご要望

上記のとおり申込みます。

平成 年 月 日

申込者名

財団法人 地域社会振興財団 理事長 様

(備考) 複数お申し込みの際には、この様式をコピーしてご使用ください。

個人情報の取り扱いについて

研修会受講申込書に記載された皆様の個人情報は、当該研修会にのみ使用させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

また、この中から、受講者名簿として必要な情報を掲載し、研修会初日に全受講者に配布させていただきますので併せてご了承をお願いいたします。

切り取り線(ミシン目)

1

(1

上野から宇都宮行(約90分)で
自治医大駅東口下車

(2)

新宿から宇都宮行(快速で約80分)で
自治医大駅東口下車

(E

東京・上野から「やまびこ」・「なすの」 仙台方面行(45分)
小山駅で下車し、宇都宮線・湘南新宿ライン
宇都宮行乗り換え(10分)自治医大駅東口下車
※「やまびこ」は、小山駅に停車しない列車もありますので、よくご確認ください。

2

東北新幹線
宇都宮駅で下車し、宇都宮線・湘南新宿ライン
普通電車 上野・新宿行に乗り換え(20分)
自治医大駅東口下車

3

徒歩約8分
自治医大駅～附属病院循環バス約2分

